

碎石位チェックリスト

【両上肢外転固定を想定した必要物品】

手術台 (1) 上肢台 (2) 碎石位用支脚器 (1組)
 頭部枕 (1) 体圧分散寝具 (必要数) 上肢固定帯 (2)

脊柱・体幹		☑
①	脊柱を一直線にしている (患者の身体を手術台の中央にする)	
頭部・頸部		
②	後頭部を体圧分散している	
③	頸部を屈曲・伸展・回旋・側屈0° にしている	
肩・上肢 (外転固定の場合)		
④	手術台と上肢台に段差がない	
⑤	肩関節の外転を90° 以下にしている	
⑥	肩関節を軽度水平屈曲位 (水平内転位) (5° 程度) にしている	
⑦	肘関節を軽度屈曲 (5-10°) にしている	
⑧	上肢台で肘関節内側上顆 (尺骨神経) を圧迫していない	
股関節・下肢		
⑨	碎石位用支脚器を大腿骨大転子部直下の位置に固定している	
⑩	臀部を手術台腰板の末端に位置している	
⑪	股関節は屈曲を90° 以下、外転を45° 以下、伸展を10° 以下にしている	
⑫	膝関節を屈曲90° 以下にしている	
⑬	碎石位用支脚器で腓骨小頭を圧迫していない	
⑭	踵部を碎石位用支脚器ブーツの底面に固定している	
⑮	下腿部全体を碎石位用支脚器と水平に固定し、下腿部を局所的に圧迫していない (コンパートメント症候群予防)	
⑯	碎石位用支脚器で膝窩動脈を圧迫していない	
⑰	足関節・膝関節と、逆側の肩関節を結ぶラインを一直線にしている	
⑱	足背動脈または後脛骨動脈を触知できる	
⑲	両下肢の屈曲・外転の角度を左右対称にしている (碎石位用支脚器ブーツの固定位置・高さ・角度を左右対称にしている)	
共通項目		
⑳	シーツのしわを伸ばす (背抜き、置き直し)	
㉑	爪・モニターコード・輸液ルート・カテーテル類による、皮膚の直接圧迫がない	
㉒	離被架・上肢固定帯等による、皮膚・神経圧迫がない	
㉓	体圧分散寝具を用い全身の受圧面積を広くしている	
㉔	碎石位用支脚器・ベット・離被架・固定具・上肢台などが、ゆるみなく固定されている	
㉕	体位確認・調整時は、適宜、背抜き・置き直しの実施と①～㉔の観察を実施する	